

**5/4 第一日曜は朝市へ**  
**長岡温泉元気朝市はじまる**

伊豆長岡の温泉街を活性化しよう  
と、五月から、月一回の『元気朝市』  
がスタートしました。

この日、温泉場通りの南山荘玄関  
横ボケツトパークには、早朝から十  
八店舗が軒を連ね、農産物や海産物、  
竹細工、工芸品、堆肥などが販売さ  
れ、旅館宿泊客らでにぎわいました。  
今後は毎月、第一日曜日午前八時  
〜十一時(売り切れ次第終了)に開催  
していく予定です。皆さんも少し早  
起きて、足を運んでみてはいかが  
でしょう。

なお、『元気朝市』では現在、有機  
野菜などの地場産品を販売してくれ  
る出品者を募集しています。

**問合せ** 長岡温泉場振興会(真野)  
電話055(948)3434



早朝から多くの客が訪れた元気朝市



子どもたちに好評だったマスのつかみ捕り

**5/5 イチゴ食べ納め**  
**江間・伊豆長岡いちご祭り**

連休真つただ中のこの日、今  
季イチゴ狩りのフィナーレを飾る  
『いちご祭り』が、江間、伊豆長岡の  
各いちご狩りセンターで開催されま  
した。

今年も各センターでは、イチゴ狩  
り入園料(三歳以上三十分食べ放題)  
七百元を五百円に引き下げたほか、  
江間ではポニーなど動物とのふれあ  
い広場、マスつかみ捕り、ジャム作  
り体験を、伊豆長岡では投げもち、  
太鼓演奏、綿菓子の無料サービスと  
いった催しを用意し、市民や観光客  
を楽しませました。

市内のイチゴ狩りは、今季はこれ  
で食べ納め。来季(年末年始スター  
ト)もどうぞお楽しみに。

**5/15 継続は力なり**  
**江間婦人学級が五十周年**

昭和三十四年、長岡北小学校長の提  
案により、母親の実力と地位、家庭  
教育力を高めようと、読書活動が始  
まりました。以来、各種グループ別  
学習、社会見学や市文化祭参加など  
の生涯学習実践により、地域交流と  
文化向上に貢献している江間婦人学  
級が、五十周年を迎えました。

この日、約五十人が集まり江間防  
災センターで行われた開講式では、  
記念品として学級生がデザインし藍  
染めした座布団カバー五十枚が室伏  
江間区長会長に手渡されました。

来賓の望月市長は、「市も一生涯  
命やっている皆さんを応援していき  
たい。女性ががんばって、まちづく  
りを進めてほしい」とエールを送り  
ました。



50周年座布団カバー50枚が江間防災センターへ



高橋さんと金賞受賞作品(左2つのコンテナ)

**PICK UP!**  
**花と緑を町中に**  
**奈古谷・高橋さゆりさん**

四月二十五日(二十七)に浜松市  
で開催された『浜名湖フラワーフェ  
スタ』のコンテナガーデンコンテス  
トで金賞(県知事賞)に輝いた、高橋  
さゆりさん(奈古谷)。

高橋さんは主婦業の傍ら、五年前  
に英国王立園芸協会の資格を取得。  
JAや女性の会、グリーンフェスタ  
などで、花や緑の講習会を開催した  
り、葦山中学校の花壇にボランティア  
アとして花を植えたりと、精力的に  
市内の緑化活動を行っています。

またペットボトルや放置竹の花  
瓶、生ごみの堆肥など、暮らしのリ  
サイクルとガーデニングの融合も研  
究している高橋さん。「各家庭に花  
と緑のすばらしさを伝えることで、  
いつか伊豆の国市全体が花でいつぱ  
いになるのが夢」と語りました。



「お花のあるオブジェに乗っちゃった！」



生ごみ堆肥で育てた花や緑にふれあい、環境について考えた一日

**4/26 生ごみ堆肥で花と緑を**  
**第四回グリーンフェスタ**

今年も、環境イベント『グリーン  
フェスタ』を、「安全 いのち育む土  
づくり、安心 花と緑で心のやすら  
ぎ」をテーマに、葦山時代劇場日だ  
まり広場で開催しました。

当日は、市内外から十六チームが  
参加した花壇づくりコンテストや、  
生ごみ堆肥を使った安全な土づくり

教室、花や緑の体験コーナー、紙芝  
居とバルーンアートの共演などを催  
し、多くの人でにぎわいました。

また会場には、造園のプロによる  
坪庭が制作・展示されたほか、生ご  
み堆肥で市民が育てた花や野菜も展  
示され、訪れた人たちの目を楽しま  
せました。

PHOTO  
ぎやらりー



「今年も水が供給できますように(下畑水源地)」

**5/2 水の恵みに感謝**  
**下畑・宗光寺で水神祭**

下畑水源地と宗光寺水神地の二カ  
所で、水神祭が執り行われ、上下水  
道工業会組合員や市長、市議、地元  
関係者ら約四十人が参列しました。  
宮司の祝詞奏上に続き、参列者の  
代表が玉くしをささげると、参列者  
一同は、豊かな水の恵みに感謝し、  
水の安定供給や水道工事の安全など  
を祈願しました。

古くから大仁地区の水源地だった  
この二カ所では、もともと下畑、宗  
光寺の両区民により水神祭が行われ  
ていましたが、水道の発達により昭  
和二十七年ごろに一時立ち消え、昭  
和四十六年以降に再開、昭和五十二  
年からは旧・大仁町上下水道工事事  
組合(現・伊豆の国市上下水道工業  
会)が主催するようになりました。



小田原城下をパレードした『伊豆の国市葦山衆』

**5/3 二市結ぶ北条の縁**  
**小田原北條五代祭り参列**

『小田原北條五代祭り』は、伊豆国  
葦山城を居城としていた武将・北条  
早雲(後北条氏の初代)が関東に進出  
し、小田原を平定してから二代氏綱、  
三代氏康、四代氏政、五代氏直に至  
る「北條五代」の偉功を讃えた、小田  
原市のお祭りです。

この北条氏の縁により、伊豆の国  
市は旧葦山町時代から小田原市と交  
流を続けていて、今年も市長や観光  
協会長、商工会長ほか観光協会や市  
職員ら約二十人が開会式・出陣式に  
出席しました。

また手作り甲冑に身を包んだ職員  
らは、『伊豆の国市』葦山衆のぼ  
り旗をかかげ、観光客でにぎわう小  
田原城下をパレードしました。